

2010 年度自己点検・評価報告書の公表にあたって

学 長 山本 英夫

このたび『2010 年度自己点検・評価報告書』を公表する運びとなりました。公表にあたり、今年度及び来年度の自己点検・評価等の計画について一言述べておきます。

本学では、2007 年度に「認証評価」を大学基準協会を受審しました。その過程で、本学が力を注いでいる多くの取り組みが評価された反面、いくつかの指摘（助言）事項がありました。また、受審にあたり作成した自己点検・評価報告書においても、学部や研究科の一層の向上を目指した改善事項を抽出しました。

2011 年 7 月には、認証評価で指摘のあった助言事項に対し「改善報告書」を大学基準協会に提出することになっています。

2010 年度の自己点検・評価は、これらの指摘事項—すなわち認証評価における大学基準協会からの助言と、本学が自己抽出した改善事項—に対し改善状況を確認することを主眼に置きました。

自己抽出した課題は、2008 年度より改善への進捗状況を管理していますが、今後も継続的に改善を進めることを前提に、改めて進捗状況を確認しました。そして、特に大学基準協会からの助言については、その改善状況を報告書としてとりまとめました。この 3 年間で、どの項目についても、着実に改善が進んでいることを認めるとともに、当時より大きく改革を遂げているものもあります。今後は、2011 年 5 月現在でこの報告書の内容をさらに見直し、「改善報告書」として、7 月、正式に大学基準協会に提出します。

少子化の進行、大学教育の質保証、キャリア教育と就職、情報公開など、大学を取り巻く状況は年々厳しくなり、よりスピーディーな大学改革が求められています。本学としましても、この状況をチャンスと捉え、創立 50 周年に向け、改革への挑戦をさらに続けて参る所存です。

最後になりますが、日頃からの本学へのご支援に感謝申し上げますとともに、公表によりこの自己点検・評価活動が本学の改善・改革にとって大きな糧となるよう、本報告書に対し、皆様からの貴重なご意見・ご指摘を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2011 年 3 月